

2012年度

N 日本史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I. 次の文1～11を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 氷河時代には全地球規模で4回の大きな氷期があり、それらの間にやや温暖な間氷期が存在した。こうした気候変化を経験しながら、人類は猿人から原人、さらに旧人・新人へと進化した。氷河時代には海水面が低下し、日本列島の形状は現在と大きく異なっていた。瀬戸内海は陸地となり、本州・四国・九州は繋がっていた。また九州と朝鮮半島との間、本州・北海道の間のくあ>海峡も陸橋となっていた可能性があり、さらに北海道とサハリン（樺太）、そして大陸は繋がっていた。そうした陸橋を通し、アジア大陸から日本列島へ、動物さらには人間も往来したと考えられる。日本列島でも、この時代の人骨が発見されており、それらは中国で発見されている人骨との類似が説かれている。旧石器時代から縄文時代に移行する過程においては楔形石核から作られるくい¹⁾>が使用されたが、その技術は明らかに大陸から伝播したものである。
2. 縄文時代においては気温、海水温が上昇し、(イ)には海水面の上昇もピークに達した²⁾。その証拠として、現在の海岸線から遠く離れた内陸部にも当該時期の貝塚が多数発見されている。また海水面の上昇に伴い黒潮の一支流が日本海にも流れ込むようになり、日本海の海水温も上がり、日本海側には現在のような冬季の積雪を見るようになった。縄文時代は狩猟採集民の社会とされるが、青森県のくう>遺跡に知られるように竪穴住居ばかりでなく、大型住居さらに巨大構築物が発見されており、そこでは一般に想像されるより多くの人々が集住していたことが想定されている。
3. 弥生時代、日本列島に水稲耕作が広がることは広く知られている。『郷土研究』を刊行し、民俗学を確立したくえ³⁾>はその伝播ルートとして「海上の道」を説き、中国大陸から南西諸島を経由したルートを想定した。しかしながら、考古学的には華南から朝鮮半島を経由して九州に伝播したとする説が多くの支持をえており、九州から南西諸島に稲作文化が広がったと考えられている。また弥生時代には金属器が使用されるようになるが、石器の使用も続いた。
4. 古墳時代を特徴付けるのは前方後円墳であるが、それらの祖型とされる墓制は弥生時代⁴⁾に発見されている。しかし古墳時代になって造られる前方後円墳は、その形態が細部にいたるまで定型化した特徴を共有している。それらのうち、最古の前方後円墳の1つとされているのは奈良県桜井市のくお>古墳であるが、畿内から九州にいたる地域

で知られる最古級の前方後円墳と比較したとき、その規模は飛び抜けて大きく、奈良盆地においてそれを造成した政治集団が、突出した勢力を有していたと想定されている。

5. 4世紀末からヤマト政権は朝鮮半島への武力進出を進めるが、7世紀後半に半島での戦いに破れ、軍隊を引くこととなった。その結果、対馬の金田城から九州、さらに瀬戸内海沿岸そして畿内にかけて朝鮮式山城などの各種防衛施設が造られることとなった。667年、都が（ロ）から近江大津に移動したのもそうした動向と関連するとされている。

6. 律令体制下においては戸籍が整備され、班田収授法により各戸を単位として口分田が班給された。その際、班田を円滑に行うために規格的な土地区画がなされたが、そうした区画制度をくか制という。各くかは正方形に区画されており、さらにその各辺が（ハ）等分され、坪と呼ばれる土地に分けられた。こうした土地区画の痕跡は近年まで日本各地で確認されている。

7. 仏教の興隆とともに国が管理・維持する寺院が創建されたが、それらは南都七大寺と総称されるようになる。そしてそうした寺院において南都六宗とよばれる宗派が展開する。それらの各宗派は仏教研究上の学派といった性格を持った。六宗の1つである（ニ）は鑑真の来朝後、盛んとなった。

8. 9世紀後半、都では激しい政争が繰り広げられていた。藤原氏（ホ）の藤原冬嗣の子、藤原くきは、858年、臣下として初めて摂政の任をつとめ、さらに866年のくくの変では大納言伴善男や紀夏井などを遠流とし、正式に摂政となった。その後を継いだ藤原基経は関白となり摂関政治への道を確認することとなった。一方、東北では878年に元慶の乱が起こり、秋田城が俘囚によって焼き払われるという事態に至っている。

9. 1221年、鎌倉幕府打倒をめざした後鳥羽上皇が北条義時の追討命令を発し、承久の乱が起った。義時は子の北条（ヘ）らを派遣して上皇方を破り、後鳥羽上皇は（ト）に流された。この結果、朝廷に対する幕府の優位が確立し、今までくけが置かれていなかった西国の公領・荘園にも幕府御家人がくけとして派遣されることとなった。

10. 室町幕府の8代将軍足利義政の後継者問題から1467年、京都を主戦場とした応仁の乱が起こり、都の大半が戦火に巻き込まれることとなった。彼の後継者問題とともに、乱の要因の1つとして、幕府の実権を握ろうとする三管領の1つ（チ）氏と、侍所所司を勤める四職の1つ（リ）氏の対立などがからんでおり、争乱において両氏は東軍・西軍をそれぞれ率いることとなった。乱の最中、義政は将軍職を義尚に譲り、その後、東山山荘を設けて銀閣を建て、さらに（ヌ）にその作庭を命じるなどした。彼のこうした活動から東山文化が展開することとなったわけである。

9)

11. 豊臣秀吉は1585年四国の大半を支配する（ル）氏を降伏させて四国を平定した。さらに1587年に九州南部の（ヲ）氏を降伏させて九州を、1590年には小田原北条氏を滅ぼし関東を、それぞれ平定した。また、豊臣方に参陣していた奥州の最有力者であり、後に仙台藩主となる＜こ＞を服属させ、東北地方をほぼその支配下とした。こうした軍事行動とともに、検地、人掃令などにより天下統一を実体化していった。そして国内の支配体制を固めるとともに海外にも目を向け、朝鮮へ出兵することとなった。彼の政治姿勢には独裁的傾向が強いが、他方で腹心の部下を五奉行として政務を分掌させ、その上に有力大名を五大老と位置付け、彼らによる合議¹¹⁾がなされることもあった。

A. 文中の空所(イ)～(ヲ)にあてはまる適当な語句または数字を、それぞれ対応する次のa～dから1つずつ選び、その記号をマークせよ。

- | | | | | |
|-----|--------|--------|---------|--------|
| (イ) | a. 早期 | b. 前期 | c. 中期 | d. 後期 |
| (ロ) | a. 飛鳥 | b. 恭仁 | c. 紫香楽 | d. 難波 |
| (ハ) | a. 2 | b. 4 | c. 6 | d. 8 |
| (ニ) | a. 華嚴宗 | b. 三論宗 | c. 法相宗 | d. 律宗 |
| (ホ) | a. 京家 | b. 式家 | c. 南家 | d. 北家 |
| (ヘ) | a. 時行 | b. 長時 | c. 守時 | d. 泰時 |
| (ト) | a. 伊豆 | b. 隠岐 | c. 佐渡 | d. 土佐 |
| (チ) | a. 赤松 | b. 斯波 | c. 畠山 | d. 細川 |
| (リ) | a. 一色 | b. 京極 | c. 土岐 | d. 山名 |
| (ヌ) | a. 観阿弥 | b. 善阿弥 | c. 能阿弥 | d. 立阿弥 |
| (ル) | a. 尼子 | b. 大内 | c. 長宗我部 | d. 三好 |
| (ヲ) | a. 伊東 | b. 大友 | c. 島津 | d. 竜造寺 |

B. 文中の空所<あ>～<こ>それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

C. 文中の下線部1)～11)にそれぞれ対応する次の問1～11に答えよ。解答はそれぞれに与えられたa～dから1つずつ選び、その記号をマークせよ。

1. これに関する説明として正しいのはどれか。
 - a. 九州から北海道まで落葉広葉樹林が広がっていた
 - b. テント式の住居が一般的であった
 - c. 舟は知られていなかった
 - d. 弓矢が主要な狩猟具であった
2. これに関する説明として正しいのはどれか。
 - a. 貝塚はゴミ捨て場であり、縄文人の食べかすである貝殻や魚骨などが発見されるが、埋葬された人骨は発見されない
 - b. 縄文土器の名称が使用されるようになるのは、アメリカから来日した動物学者モースによる大森貝塚の報告に始まる
 - c. 縄文時代の集落は、竪穴住居が道を挟んで平行に作られている例が多い
 - d. 抜歯の風習があったが、それは懲罰のためになされたと考えられている
3. これに関する説明として正しいのはどれか。
 - a. 多くの支石墓が関東地方で発見されている
 - b. 甕棺墓は東北地方で多数発見されている
 - c. 九州から近畿にかけて、殺傷力の強い武器が多数発見されている
 - d. 南西諸島には続縄文文化が広がった
4. これに関する説明として正しくないのはどれか。
 - a. 群馬県渋川市黒井峯遺跡は古墳時代の集落遺跡である
 - b. 5世紀には登り窯で焼かれた土師器が作られるようになる
 - c. 前期の古墳においては宗教的な副装品が見られるが、中期になると武器類が多くなる
 - d. 奈良県桜井市にある纏向遺跡は古墳出現期の大遺跡である
5. これらの施設のうち、畿内に造られたのどれか。
 - a. 大野城 b. 高安城 c. 水城 d. 屋島城
6. これらのうち一時、大官大寺と呼ばれた寺院はどれか。
 - a. 大安寺 b. 東大寺 c. 法隆寺 d. 薬師寺

7. これと同じように日本海沿いに設けられた城柵はどれか。
- a. 胆沢城 b. 徳丹城 c. 淳足柵 d. 桃生城
8. この年についての説明として正しくないのはどれか。
- a. 将軍職に、摂家将軍である九条頼経が就いていた
- b. 北条政子は朝廷側に対する御家人の結束を説いた
- c. 北条義時が政所・侍所別当として実権を握っていた
- d. 北条義時の弟である北条時房も京都に赴いた
9. これの説明として正しくないのはどれか。
- a. 世阿弥は足利義政の保護を受けた
- b. 東山山荘の東求堂同仁斎は足利義政の書斎であり、書院造の代表例とされている
- c. 東山山荘は足利義政の死後、慈照寺と呼ばれることとなった
- d. 村田珠光は侘び茶を創出した
10. これは秀吉と秀次によって出されたが、その説明として正しくないのはどれか。
- a. 職業別に戸口調査を実施した
- b. 百姓が商売をすることを禁止した
- c. 百姓の転業を禁止するとともに、武器を持つことも禁じた
- d. 武家奉公人が百姓・町人となることを禁止した
11. この職に任じられなかったのは誰か。
- a. 浅野長政 b. 石田三成 c. 小西行長 d. 前田玄以

Ⅱ. 次の文1・2を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 安土・桃山時代は、一方で権力者たちによって豪壮華麗な城郭建築が作られ、「唐獅子図屏風」を描いた（イ）などによって、その城郭建築内部を飾る障壁画が興隆し、他方で大名たちや都市の豪商らの間で茶の湯が流行した時代であった。また、『（ロ）』を著したルイス＝フロイスが織田信長にコンペイトウを献上するなど、キリスト教の宣教師たちによって、ヨーロッパの文物がもたらされた時代でもあった。人びとの生活様式における変化としては、この時代にくあ>が一般的な服装となり、衣料では木綿の普及が進んでいったと考えられている。

武家の日常着や庶民の衣料として木綿が普及する一方、上層身分の人びとの政治的・経済的ステータスを示すものとしての絹は、その需要が一層増していった。江戸時代初期の貿易における最大の輸入品も生糸・絹織物であり、その代価として日本各地で採掘された金銀が支払われていった。徳川幕府が、1604年に設けた糸割符制度²⁾は、くい>と呼ばれた中国産の生糸の輸入に関して、幕府が特定商人に割り当てて統制するものであり、当時、中国と日本の中継貿易で莫大な利益をあげていたポルトガル商人の利益独占の排除をめざして行われたものであった。この後も、国内の生糸・絹織物の需要は衰えることはなく、やがて、国内での生糸増産がはかられて養蚕・製糸業がさかんとなった。その周辺から絹織物業も起こるようになり、高級絹織物業の中心地である京都の西陣から複雑な文様を織ることのできるくう>の技術を導入した桐生や足利などにもすぐれた絹織物業がおこっていった。また、染色技術が進んだことにより、阿波のくえ>や出羽の紅花が特産物となっていった。

絹物業と染色技術の発達³⁾があったばかりでなく、浮世絵版画の普及なども、人びとの間に衣装模様や装い方への関心や需要を高めていった。浮世絵版画は、『見返り美人図』でも有名なくお>が確立したことで知られており、美人図や役者絵などが好んで題材とされていった。役者絵で描かれたのは歌舞伎役者であるが、17世紀初めにかぶき踊りがくか>によって始められて以降、歌舞伎はたびたび幕府の禁止や統制を受けながらも、江戸時代の庶民の代表的娯楽として発展⁴⁾していった。

食生活の変化を見るならば、江戸時代を通じて、1日3度の食事をとることが広まり、一般化していったと考えられる。江戸時代、米は主食であるとともに、徳川幕府や諸藩の財政の中心として位置づけられた。江戸初期の約100年間で米の生産高は大きく上昇したが、これは、灌漑用水の整備、（ハ）見島湾や下総椿海の干拓などによる新田開発、農業技術の改良によってもたらされたものであった。農業技術の改良には、

(二)の著した『農業全書』などをはじめとする農書の普及も関わっており、米以外の野菜の生産もさかんになって、商品作物が作られるようになっていった。

江戸時代は、料理に醤油、清酒、出汁だしを使うことが普及した時代でもある。醤油や清酒、出汁をとるのに用いられた昆布などを、江戸や大坂など大都市に運ぶ輸送手段の中心は水運であった。江戸と大坂の間では、菱垣廻船と、当初酒荷専用として始まったくき5)廻船が行き交った。また、くく6)による富士川や高瀬川の開削などは、内陸部の物資を舟運によって河口に運び出すことを可能とし、東廻り航路と西廻り航路の確立などとともに、水運による物流網が広がっていった。

2. 明治政府は、文明開化政策を推進した。軍服をはじめ、官吏の服装の洋装化がはかられ、兵食に牛肉を採用するなど、服装や食事の面での西欧化が進められた。また、太陰太陽暦の旧暦から太陽暦の新暦にかえ、庶民の伝統的な年中行事であるくけ7)を法令上廃止する一方、新たに天皇家に関連づけた紀元節や天長節などを祝日とした。文明開化政策の影響は、東京をはじめとする大都市では人びとの生活の変化としてあらわれたものの、農村では旧暦を用いて生活し、盂蘭盆会や、雛祭り・七夕などのくけ7)の行事が引き続き行われた。

洋装化の度合いをみるならば、都市と農村間の相違も大きかったが、男女間の相違も大きかった。諸学校令の制定により学校体系の整備を行った初代文部大臣の(ホ)によって、1880年代後半、官立学校の男子生徒について、軍服をモデルとした洋装制服の制定が進められた。以後、その洋装制服は「学生服」として定着していった。しかし、同時期に進められようとしていた官立学校的女子生徒の洋装化は、定着しないまま、(ホ)の死後数年で和装に戻って失敗に終わった。1880年代には鹿鳴館の舞踏会にあらわれたように女性たちの洋装も見られたが、このときの洋装化は華族や政府高官夫人などに限られ、一般に普及することはなかった。中等教育機関に通う女子生徒に洋装の通学服が定着・拡大していくのは、第一次世界大戦後の都市化と社会の大衆化の時期を経て、都市の職業婦人の制服などから女性の服装の洋装化が次第に進んでいった1930年前後のことであった。第一次世界大戦後の都市では、新聞、雑誌に加え、新たにラジオ、映画などのマス9)メディアが普及し、衣食住などの生活様式においても洋風化・近代化が進んだ。しかし、農村ではそれらは十分に普及せず、都市と農村の人びとの生活格差は大きかった。

日中戦争が始まると、(へ)内閣は経済統制の強化を行い、1938年には、くこ10)を制定した。これにより政府は議会の承認なしに、戦争遂行に必要な物資や労働力を動員する権限をあたえられ、国民生活を全面的統制下においていった。このような軍需優

先の方針のもとで、日常生活に必要な衣料や食料が不足するようになり、切符制や<さ>制がとられるようになった。1940年にはぜいたく品の製造・販売の禁止、砂糖・マッチなどの消費を制限する切符制が実施され、1941年には東京や大阪などで米の<さ>制が実施されたが、米不足は改善されず、¹¹⁾米のかわりに大豆などが代用食となっていき、敗戦後まで食糧難の状況は続いた。

戦後の¹²⁾高度経済成長の時期を経て、日本では¹³⁾第一次産業の就業人口が急激に減少し、¹⁴⁾第二次産業からさらには第三次産業へと就業人口が移行していった。農村の過疎化、都市への人口集中はさらに進み、各家庭への家電製品の急激な普及をはじめとして、衣食住に関わる生活様式も大きく変化していった。

A. 文中の空所(イ)～(へ)にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から 1 つずつ選び、その記号をマークせよ。

- (イ) a. 狩野永徳 b. 狩野探幽 c. 狩野正信 d. 狩野元信
(ロ) a. 伊曾保物語 b. 采覧異言 c. 日本史 d. ハルマ和解
(ハ) a. 紀伊 b. 長門 c. 備前 d. 豊後
(ニ) a. 大蔵永常 b. 田中丘隅 c. 二宮尊徳 d. 宮崎安貞
(ホ) a. 井上毅 b. 榎本武揚 c. 尾崎行雄 d. 森有礼
(へ) a. 近衛文麿 b. 東条英機 c. 平沼騏一郎 d. 広田弘毅

B. 文中の空所<あ>～<さ>それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

C. 文中の下線部 1)～14)にそれぞれ対応する次の問 1～14に答えよ。

1. 茶の湯の流行は、すぐれた茶器や茶室を生み出した。豊臣秀吉の命によって千利休が建てたとされる、2 畳敷の妙喜庵茶室は何と呼ばれているか。その名を漢字 2 字でしるせ。
2. 16世紀、朝鮮から、博多商人神谷寿禎によって純度の高い銀を精錬できる技法が伝えられたことが、日本における銀の生産を飛躍的に高めるきっかけになったと考えられる。この技法の名をしるせ。
3. 18世紀後半頃からおこった各地での藩政改革では、特産物の生産が奨励された。漆・桑・楮の生産の奨励、絹織物産業の普及をはかるなど、米沢藩の藩政改革を行った人物は誰か。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
a. 上杉治憲 b. 佐竹義和 c. 細川重賢 d. 山内豊信

4. これに関する説明として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 河竹黙阿弥による白浪物は、元禄時代の歌舞伎の代表作である
 - b. 坂田藤十郎は、江戸の歌舞伎役者として活躍し、荒事を確立した
 - c. 竹本座は、幕府から興行が公認された歌舞伎劇場である江戸三座の 1 つであった
 - d. 『東海道四谷怪談』は、鶴屋南北（四世）によって書かれた生世話物である
5. 江戸時代、野菜や果実を取引する公許の青物市ができたのはどこか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 雑喉場 b. 天王寺 c. 天満 d. 堂島
6. 幕府や諸藩が重視した商品作物である四木三草の 1 つに茶があった。江戸時代には、煎茶が普及したが、煎茶での喫茶方式は、日本への黄檗宗の伝来に随伴して伝えられ、広まっていったものと考えられる。日本に黄檗宗を伝えた人物は誰か。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 一山一寧 b. 隠元隆琦 c. 無学祖元 d. 蘭溪道隆
7. 新暦施行の直前の旧暦は天保暦であるが、その前に 50 年近く施行されていた寛政暦は、幕府が 18 世紀末に天文方のある人物に命じてつくらせたものであった。この人物とは誰か。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 伊能忠敬 b. 志筑忠雄 c. 渋川春海 d. 高橋至時
8. これに関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. これを設計したのは誰か。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 片山東熊 b. コンドル c. 辰野金吾 d. ラグーザ
- ii. 鹿鳴館外交は、幕末に欧米諸国と結んだ条約の改正の過程で展開されたものであった。この条約改正に関わる次の出来事 a～e のうち、もっとも古いものを解答欄の①に、次に古いものを②に、以下同じように⑤まで年代順にマークせよ。
- a. 井上馨の外相辞任
 - b. 大津事件
 - c. 小村寿太郎外相時の日米通商航海条約締結
 - d. ノルマントン号事件
 - e. 陸奥宗光外相時の日英通商航海条約締結
9. 1918 年に創刊された『赤い鳥』は、1920 年代前半に興った児童文学ブームの牽引役となった。この雑誌を創刊したのは誰か。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 有島武郎 b. 菊池寛 c. 鈴木三重吉 d. 志賀直哉
10. 日本で初の国産トーキー映画が封切られたのは1931年のことであった。この年の出来事はどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 済南事件 b. 三・一五事件 c. 三月事件 d. 四・一六事件
11. この年の出来事はどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 『国体の本義』の発行 b. 国民学校令の施行
c. 滝川事件 d. 津田左右吉の著書の発禁処分
12. 1946年5月19日には食糧メーデーと呼ばれた飯米獲得人民大会が宮城前広場で行われた。この時に組閣工作中であり、この食糧メーデーの数日後に発足した内閣の首相は誰か。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 芦田均 b. 片山哲 c. 幣原喜重郎 d. 吉田茂
13. 高度経済成長期、日本の国際関係においても様々な変化があった。この時期の日本の国際関係に関する出来事について、もっとも古いものから年代順に並んでいる組み合わせはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. インドネシアと平和条約・賠償協定調印→日ソ共同宣言
→OECD加盟→LT貿易の覚書調印
- b. OECD加盟→インドネシアと平和条約・賠償協定調印
→LT貿易の覚書調印→日ソ共同宣言
- c. LT貿易の覚書調印→OECD加盟→日ソ共同宣言
→インドネシアと平和条約・賠償協定調印
- d. 日ソ共同宣言→インドネシアと平和条約・賠償協定調印
→LT貿易の覚書調印→OECD加盟
14. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 第一次産業人口の減少を食い止めるために、1961年に食糧管理法が制定された
- b. 第一次産業人口の就業人口に占める比重は、1955年に約4割だったが、1970年には2割を割り込んだ
- c. 農業人口の減少とともに増加した第2種兼業農家は、1960年には農家総数の5割を占めた
- d. 農業人口の減少により、1970年には米は供給不足状態に陥った

【以下余白】